



矢作公園の活用を考えよう！

矢作公園ワークショップレポート



矢作公園の活用を考えるグループワークの様子

令和4年度から近隣住民の方々の意見を元に矢作公園の改修計画が練られ、令和5年度に大屋根の設置や遊具、トイレの改修などの改修案がまとめられました。

今回のワークショップでは、現在の矢作公園の使い方を踏まえて、これからさらに「どんなことができるか／やりたいか」を考えました。



ワークショップ概要

- [日 時] 2024年12月15日(日)
10時～12時
- [場 所] 西部地域交流センター・
やはぎかん 2Fホール
- [参加者] 21名
(小学3年～70代)
- [主 催] 岡崎市都市基盤部
公園緑地課
- [運 営] 岡崎まち育てセンター・
りた



当日のプログラム

- 1.はじめに
- 2.情報提供
矢作公園の整備予定／公園愛護運営会について
矢作公園の活用(プレワークショップ報告)
- 3.グループワーク
意見交換 矢作公園でやっていること／やってみたいこと
情報整理 やってみたいことベスト3を決定
- 4.全体発表
- 5.まとめ

グループワーク

4つのグループに分かれ、「矢作公園でやりたいこと」「そのために自分ができること」を話し合い、「やりたいことベスト3」をまとめました。

A グループ

1位 どんぐり拾い&食べる!

・どんぐり博士のガイドでどんぐりを拾って食べる体験会

1位 ヤギと清掃

・ヤギをレンタルし、草を取りつつ餌をあげるイベント

1位 身体を動かすヨガ・ピラティス

・健康体操、青空ヨガやピラティス。散歩も。

1位 餅つき

・地域で既に実施。矢作公園でもやりたい。

その他 麻雀・囲碁将棋・モルック・ボッチャ

・大屋根の下で誰もが楽しめるイベントを。

その他 シニアカー&電動アシスト自転車試乗体験

できることリスト

- ・SNSを使った告知やチラシ作り
- ・どんぐり博士
- ・砂掘り



B グループ

1位 防災キャンプ・車中泊体験

・災害時を想定した実践的な訓練をしてみたい。

2位 バーベキュー大会

・子ども会とシニアが連携して開催したい。

3位 モルック

- ・ルールがシンプルで誰でも楽しめる。
- ・みんなでやりたい。

その他 遊具の手入れ・小さい木の手入れ

・利用者が安全に遊べるように。

できることリスト

- ・遊具の手入れ
- ・植物の手入れ
- ・公園利用方法紹介
- ・見守り
- ・清掃



C グループ

1位 フェス

- ・泊りあり、屋台やキッチンカーありで、防災を前面に出さず、楽しみながら防災が身につくフェス

2位 屋根の下で歌声喫茶

- ・お茶飲みながらみんなで楽しく歌いたい。

その他 地域連携+地域資源の活用

- ・熊野神社の防災倉庫や近隣のファミリーマートのトイレを活用。ごまんぞく体操、福祉用具紹介なども。

その他 買い物難民が減るような産直朝市

- ・地域の人が作った野菜を出すマルシェ

その他 公園全体で宝さがしゲーム／水遊び大会

- ・地域の人が作った野菜を出すマルシェ

できることリスト

- ・ゴミ拾い、見守り
- ・熊野神社備品貸出(管理者)
- ・イベント企画、利用者救急対応 ほか



D グループ

1位 水遊び

- ・子どもは水遊びが大好き。籠田公園みたいに水遊びができると良い。ミストもいいな。

2位 防災キャンプ

- ・キャンプを楽しみながら、防災意識を高める。避難所開設や訓練もできたら。

2位 餅つき大会

- ・食に関連することは興味を持ってもらいやすい。子どもたちに非日常を体験させたい。
- ・もち米や臼は手配できる!人も集められる。

その他 老若男女が楽しいこと

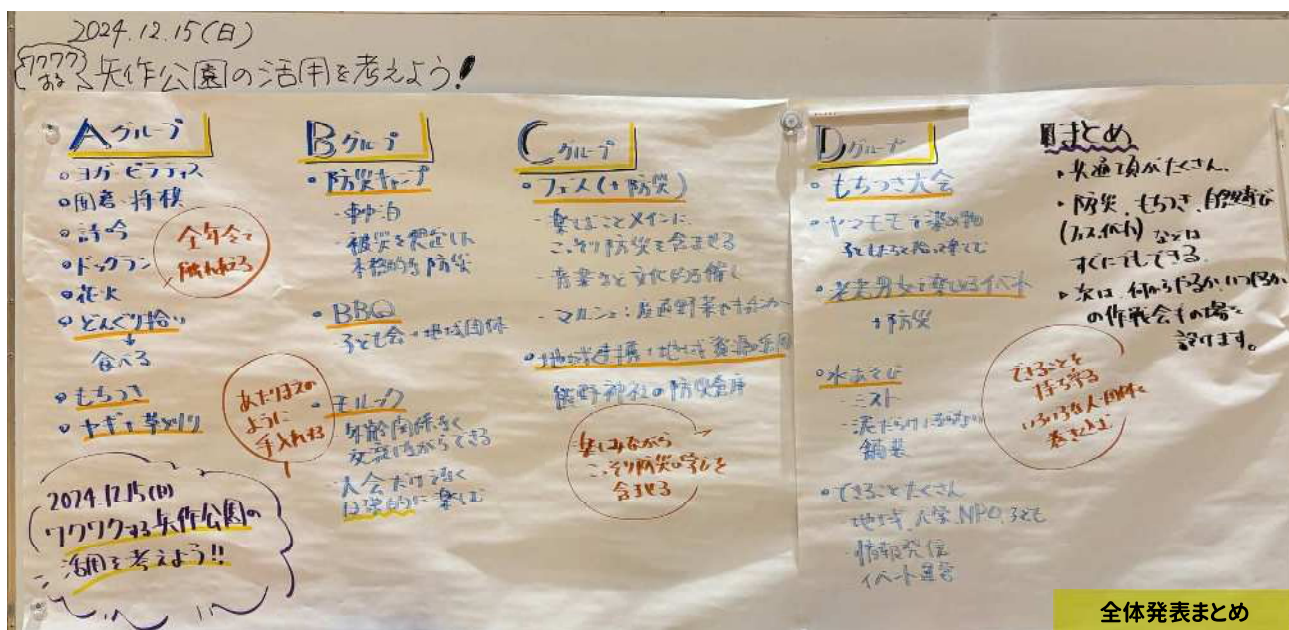
- ・ご飯をみんなで作る、一周走りっこ競争、昔遊び体験、マルシェ、果実染め、利用者が花壇に水やり

できることリスト

- ・防災に関すること
- ・SNS発信(若い世代向け)、学校巻き込み、町内周知
- ・ごみ拾いや草取り、イベント企画 ほか



まとめ



4つのグループで話し合われたことを全体で発表しました。

「矢作公園でやりたいこと」として、「防災」「地域（多世代）交流」「自然遊び・水遊び」はいくつかのグループで共通して挙げられました。

また、参加者の皆さんが「できること」は、こうしたイベントの企画・広報・運営のほか、清掃や遊具・植栽の手入れといった日常的な公園の管理まで幅広くカバーされており、今後の公園利活用の広がりが期待されます。

日常的な公園管理だけでなく、防災（フェス）などのイベントを実施するには、「公園愛護運営会」を設立することにより、できることが広がります。

参加者アンケートでは、「公園愛護会／愛護運営会」に半数以上の方に前向きな回答をいただきました（「関心がある」=5名、「やや関心がある」=5名）。

今後は、これらのご意見・アイデアの実現に向けて、地域の方々とともに検討する場を設けてまいります。



公園愛護会／愛護運営会に対する関心度（回答者19名）

